

北海道での生活



整形外科 部長

まつお しんじ
松尾 真二先生

今年の4月から整形外科医師として勤務することになりました、松尾真二と申します。出身は県北の旧真庭郡勝山町で、高校は県立津山高等学校に通いました。出身大学は北海道立札幌医科大学で、卒業後20年近く整形外科医として北海道内の病院に勤務しておりましたので、今年4月に岡山に戻ってくるまで人生の半分以上を北海道で過ごしたことになります。

高校2年生の夏休みに、1人で寝台列車と周遊券を利用して北

海道を1週間くらい旅行してから、『大学に行くなら絶対北海道がいい』と決めて、高校を出て1人札幌に向かいました。大学生の間、アイスホッケー部に所属していたので、スケートで後ろ向きに滑ったり急停止すること等が普通にできます。札幌郊外などはスキー場がたくさんあって、パウダースノーであることが多いので、スキーやスノーボード等も一通り楽しむことが出来ました。

「北海道は寒かったですよ」とよく聞かれますが、外に出れば確かに氷点下になっていることも日常茶飯事です、特殊な仕事や雪かき等をしていない限りは長く外にいることはあまりないので、寒さはあまり気になりませんでした。むしろ室内は完全暖房で二重窓になっているなど、室温が20度台に均一に温められている家や施設がほとんどなので、年末年始などに岡山の実家に帰って来た時の方が、室内でも寒いところが多くて『きついなあ』と感ずることが多かったくらいです。北海道に行ったらすぐコタツを買おうと

したのに、電気屋などに売っていないので疑問に思ったのですが、あちらで冬を過ごすと必要ないことが良く分かります。冬なのに風呂上がりにTシャツ1枚でアイスを食べることが普通に出来る環境でした。

北海道 日本ハムファイターズの本拠地である、札幌ドームに良く野球観戦に行っていました。2006・2007年のパ・リーグ制覇などを生で見ることが出来て、すごく楽しむことが出来ました。ファイターズの良いところは、FA宣言した選手をお金で持ってこようとしなくて、ドラフトで獲って育成に力を入れるという理想的な球団だと思います。今でもテレビでファイターズ観戦をするのが趣味です。

北海道に興味がある人は、是非気軽に声をかけて下さい。これからどうぞ宜しくお願い致します。

松尾先生は毎週火曜・木曜午前と第2・4週土曜日午前の整形外科外来と入院患者さんの治療を担当されています。

Doctor's Eyes